



少年自然の家だより

令和7年 芒種号
ぼうしゅ

7月頃に葉の半分が白くなる水辺の植物

With Nature

～自然とともに～

はんげしょう



半夏生

バーチャル体験が増えている今だからこそ、だれもが夢中になれる本物の自然体験が大切です。自然は、これからの時代を自分らしく生きていくために、必要なヒントを与えてくれるでしょう。

やまもも

自然の家の周りには小さい湿地（わき水で地面が湿っばくなっている場所）が、たくさんあります。そこには湿地が大好きで、生まれてから大人になってもずっと離れないレアな昆虫が暮らしています。

ヒメタイコウチ

ヒメタイコウチは水の近くで暮らすカメムシの仲間にグループ分けされます。タガメやタイコウチなど、この仲間はお尻から伸びた呼吸管という管を水面から外へ出して、呼吸をしています。ヒメタイコウチの呼吸管は短く、水中にもぐるのは得意ではありません。

また、はねがあるけど飛ばないので、遠くへ移動しません。まさに、湿地の中の『箱入り娘』なんです。

しっち だいひょうせいぶつ 湿地の代表生物

こんちゅう レア昆虫



生息が確認されているのは、愛知・静岡・岐阜・三重・兵庫・香川だけなんだよ

ヒメは小さいという意味
お姫様じゃないよ

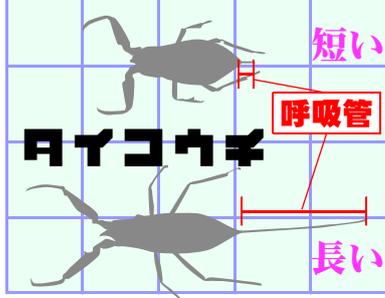
春日井市の指定希少
野生動植物8種の1種

愛知県では
準絶滅危惧種
生息条件の変化により絶滅
危惧種になる可能性あり

水生昆虫だけど6割以上は
陸上の生物を捕食

小さなクモやダンゴムシの仲間
などをエサにしてるよ

ヒメタイコウチ



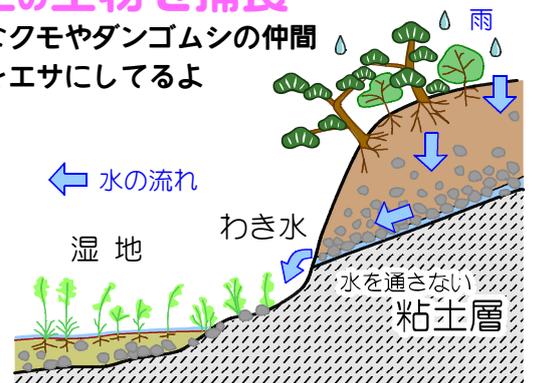
湿地に
適応？

実物大

東海地方特有の湿地のできあがり方

みろくの森は石や砂、土の下に粘土の層があります。この粘土があることで、雨が粘土より下に浸み込めず、横から「わき水」として出て、泥の上にとまって湿地ができます。

この地層は築水池でカヌーにのると水面から観察できます。



SAVE THE



湿地

自然の家の周りの湿地には、ヒメタイコウチ以外にもハッチョウトンボやモウセンゴケ、ヘビノボラズなど湿地ならではの貴重な生物が生活しています。この大事な湿地を残していくために、次のことを守ってください。

- ①ふみ荒らさない…湿地はふみ込みに弱いです。道が整備されている場合は、湿地に降りないようにしましょう。
- ②持ちこまない……連れてきた生き物や植物が、今ある環境をこわしてしまふことがあります。もちろん、持ち帰るのもNGです。

事業申し込み（7月、8月）ピックアップ



自然大好き！野あそびくらぶ

親子

親子で野あそび(自然体験と外ごはん)を楽しむ
7月は七夕飾りと七夕ゼリ

[日時] 7/5④ 9:30～14:30 [定員] 20人
[対象] 4歳以上と保護者
[参加費] 1,000円(ひとり) [募集期間] 6/1～20



自然学校【カヌーに乗って湿地探検】

カヌー

陸上から湿地にすむ珍しい昆虫や植物を観察し、カヌーに乗って水面から湿地を観察する

[日時] ①7/12④ 9:30～16:00 ②7/13④ 9:30～16:00
[定員] 各15人 [対象] 小学4年生以上
[参加費] 各2,500円 [募集期間] 6/1～20



あそびむしくらぶ～【夜の森探検】

親子

夜の真っ暗な森を探検する

[日時] 7/26④ 18:30～20:00 [定員] 30人
[対象] 2・3歳児とその家族
[参加費] 400円(ひとり) [募集期間] 6/1～20



築水池カヌー体験

カヌー

カヌー体験を通して水と触れ合うことで、自然環境について学ぶ

[日時] ①8/2④ 9:30～正午 ②13:30～16:00
③8/3④ 9:30～正午 ④13:30～16:00
[定員] 各15人 [対象] 小学4年生以上
[参加費] 各2,000円 [募集期間] 7/1～15



サマーキャンプJr.

大冒険

子どもだけの(2泊3日)テント泊、野外炊事、自然体験、水遊び、クラフトなどを楽しむ

[日時] 8/24④ 10:00～26④ 15:00 [定員] 32人
[対象] 小学2年生～4年生
[参加費] 18,000円 [募集期間] 7/1～15



夏×自然体験プログラム

夏休み

自然の家の宿泊者対象で、キャンプカウンセラーと夏の自然体験を楽しむ

①キャンプファイア ②新☆森の探検ゲーム
③ナイトハイクと天体観測
[日時] 7/21④④～8/31④(開催できない日もあります)
①③19:00～20:30 ②9:00～10:30
[参加費] ①②③いずれも1人各250円
[申し込み] 4人以上から(窓口にて)
※利用日の10日前までに宿泊予約と申し込みをしてください。



自然を探そう！

⑩モウセンゴケ
(ナデシコ目モウセンゴケ科)



花 6月～8月

築水池周りの湿地で、赤く見える場所があります。この赤く見えるのがモウセンゴケです。

ゴケという名前ですが種子植物で多年草。なんと、食虫植物といって葉にある粘毛から、ネバネバの粘液をだして虫をつかまえます。これは栄養分の少ない湿地で暮らすためにあみだした戦略なんです。白く小さい花は、とてもかわいらしいです。

また、このあたりではピンクの花の“トウカイコモウセンゴケ”も観察できます。

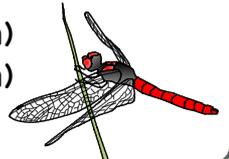


トウカイコモウセンゴケ

Go to 山 Quiz

Q 湿地に住むハッチョウトンボの大きさはどのくらいでしょう？

- ① 1000円札 (150mm)
- ② 500円玉 (26.5mm)
- ③ 1円玉 (20mm)



ヒント 5月中旬頃から9月中旬頃まで、湿地の中を飛び回るハッチョウトンボはオスは全身が鮮やかな赤色、メスは黄色と茶色のしま模様が特徴。名古屋市付近に流れる矢田川の「八丁畷(はっちょうなわて)」と呼ばれる場所にたくさん生息していたから名前がつけました。日本最小、世界でも最小級のこのトンボは自然が残る湿地でわずかに暮らしています。

※『1円玉』⑩『山』の大きさ

全カ！アウトドアちゃんじ動画

春日井市少年自然の家公式 YouTube チャンネル



二ホンミツパチが準備した待受け箱に自然入居しました♪嵐のようなすごい羽音を聞いてください！

その他、アウトドアで役立つ技術などを動画で紹介しています。



発行 春日井市野外教育センター 少年自然の家
発行日 令和7年6月1日
問い合わせ 番0568-92-8211

ホームページ 春日井市少年自然の家 検索
(公財)春日井市スポーツ・ふれあい財団のHPへ

